

令和3年度 文部科学省
 大学による地方創生人材
 教育プログラム構築事業
 (COC+R)
 全国シンポジウム

来賓 あいさつ
 富山県知事
 新田 八朗

あいさつ
 文科省
 根本 幸枝氏

テーマ説明
 COC+R 統治J-ティネタ
 信州 大学 特任教授
 矢野 俊介



開会 あいさつ

富山大学長
 齋藤 滋

30+が落ちたら
 ぜひ来ていただきたい

COCは 9年目!
 大学の取組みを支援 961名の学生が参加

400名 田んぼ
 人材の輩出

『人材育成から人材輩出へ』

ウェルビーイングが向上
 幸せ人口1千万を目指す
 取り組みには大いに期待
 実り多しシンポジウムに!

4つの大学
 富山大学
 山梨県立大学
 岡山県立大学
 徳島大学
 事業1年間か過ぎたことから7月-3月7日
 来年度は中間評価
 知見が深まることに期待

地域の魅力向上
 ①大学の役割
 ②因果モデル
 7-7ワークショップは4つ平行開催(後で視聴可能)

産学官金の連携

デジタル田園都市
 構想にも貢献

ESG
 1. 気候変動
 2. 労働環境
 3. 生物多様性
 まふしでは蓄積が立派
 気温は上昇している
 産業革命から1.2度上昇
 1.5度におさまらねえ
 5mの海面上昇
 米 相 ポストン市
 警鐘を鳴らしている
 日本はまたない
 当然 世界でも!

感染症
 COVID-19
 金融危機
 ESGの拡大
 夫馬 賢治氏

基調講演: ローカルESG、これまでの延長線ではない産官学連携による、その地域らしい地方創生に向け、地方大学が果たす役割とは?

民間セクターが力
 シジ袋は無料で配られる
 ホトはユニクロに面する

ESG投資は機能するか?
 論文を見ると効果があるのが分かった
 ESGインデックス

米国は利益、日本はしかたなく
 ESGは利益だ
 2050年にはカーボンニュートラルを全校優先、損保料あたりまえ! 損保料は高い!

サステナビリティ全体で
 SDGsから
 企業・投資家

学働力は女性と高齢者が支えきた
 人口問題も

マーケットも変化
 世界の70%の中間層は日米欧
 中国 インド ニシト

働きたるグローバル化
 世界人材ランキング
 日本は39位
 (IMDの世界人材ランキング)

大学の関わり
 高度人材の海外流出
 スキルのある労働力
 世界ランキングで低位置

ESGは利益と収益が下がる
 ESGで地域を変える
 負のサイクル

ニュー資本主義
 脱資本主義
 陰謀論

滋賀銀行
 農林中央金庫

山口県Jクラブ
 北海道庁

ハーバード大学
 大学の関わり方

①教育
 ②研究
 ③大学運営
 ④大学基金



COC+Rの“R”の意味
があたため確認できた
あたため危機感を感じた



世界で活動
していくには？



カーボンニュートラルの
算出方法は？

Q
ドミノを作る意味
マインドを変えるのに
大切なことは？

多様な
視点を持っ
議論する



大学も企業も
同じである
いっしょに考える



今の課題だけがなく
将来の課題を見る
また他の人がやるということはない
自分が動く！
A



基金の活用は？

民間の力を借りる



CSR, CSUは？

CSRにかも入れる
のではなく
本業で良いことをする
CO2を出していない企業はいない



ボランティアの
違う風になる

日常の行動にしていこう！

日本での歴史は
たかだか2年
大きく変化した
理解した上で
どう動くか考える